

第1回高校生 SDGs 選手権大会 ポスター発表の部 発表内容について

学校名	福岡県立京都高等学校
発表タイトル	食品ロスを有効に活用するためにはどうすべきか
設定した課題	食品ロスの削減ではなく活用に目を向け、世界の食糧危機や気候変動の改善に寄与するにはどうすべきか
関連する SDGs のゴール・ターゲット	12、15
ポスターの説明	<p>世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量は380万トンである。それにもかかわらず、我々は634万トン程の食品ロスを生み出している。また食品ロスは地球温暖化の原因としても世界で注目を浴びている。しかし食品ロスは今のところ横ばいで減る様子が見られていないという実態が農林水産省より発表されている。</p> <p>そこで私たちは食品ロスを有効に活用できないかと考え、文献調査、フィールドワークを行った。その結果から次の2つを提案したい。</p> <p>第一に学校の食堂で出た生ごみを段ボールコンポストで肥料に変え、校内農園で活用、栽培した野菜を食堂で活用するサイクルの確立だ。またこれが地域全体に広がるのが理想だ。</p> <p>第二にドギーバッグの活用をうながすため、自己責任カードを取り扱う店舗が店頭に掲げる「自己責任ステッカー」の普及だ。マップによる「見える化」でまずは地元商店街からの普及を目指す。</p>
制作の意図や アピールポイントなど	<p>研究内容や考案した解決策を図や写真を用いてわかりやすく伝えたいと思い制作しました。段ボールコンポストでの肥料づくりを私たち自身で実践しました。その体験にもとづく内容となっています。また現在、学校食堂からの生ごみの一部を段ボールコンポストで肥料にしているところです。</p>
苦労した点	どのような条件がそろえば社会全体への普及につながるのかを考えること。
その他(自由記載)	考案した自己責任ステッカーは行橋市の花であるコスモスとSDGsの17色を取り入れています。